

科目ナンバリング	G-AGR06 6FA60 LJ43				
授業科目名 <英訳>	森林政策学 2 B Forest Policy2B	担当者所属・ 職名・氏名	農学研究科 教授 栗山 浩一		
配当学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・開講期	2025・後期
曜時限	金2	授業形態	講義(対面授業科目)	使用言語	日本語
[授業の概要・目的]					
<p>本講義は、森林政策や環境政策を分析するための手法について学ぶことを目的としている。本年度は非市場評価の文献を取り上げる予定である。非市場評価とは価格の存在しない公共財の価値を金銭単位で評価する手法である。本講義では、厚生分析の理論、顕示選好法、離散選択モデル、レクリエーション評価、財産価値モデル、表明選好法、健康評価、費用便益分析などの各手法の理論と計量モデルについて扱う。</p>					
[到達目標]					
<p>非市場評価に関する専門知識を習得し、環境問題・農業問題・開発問題などへの応用について理解できるようになる。非市場評価の理論を理解し、データを用いた実証分析ができるようになる。</p>					
[授業計画と内容]					
<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction(第1回) 2. Theory of Applied Welfare Analysis(第2-3回) 3. Revealed Preference Models(第4-5回) 4. Discrete Choice Models (第6-7回) 5. Recreation(第8-9回) 6. Property Value Models(第10-11回) 7. Stated Preference Methods(第12-13回) 8. Health Valuation(第14回) 9. Feedback(第15回) 					
[履修要件]					
<p>ミクロ経済学と計量経済学の基礎知識を必要とする。未習の場合は、関連科目を受講するか、基礎文献を事前に読んでおくことを希望する。</p>					
[成績評価の方法・観点]					
<p>平常点(出席回数, 講義中の発言内容, 小テスト)および期末レポート提出をもとに総合的に評価。期末レポート(60%), 平常点(40%)。 評価基準及び達成度については、当該年度農学研究科学修要覧記載の「評価基準及び達成度」による</p>					
----- 森林政策学 2 B(2)へ続く -----					

森林政策学 2 B(2)

[教科書]

Daniel J. Phaneuf and Till Requate 『A Course in Environmental Economics』 (Cambridge University Press, 2017) ISBN:052117869X

[参考書等]

(参考書)

(関連URL)

<http://kkuri.eco.coocan.jp/kkuri/>(担当教員のサイト)

[授業外学修 (予習・復習) 等]

テキストを事前に読んでおくこと。

(その他 (オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。